MAJ-572E　AW87　2019年11月1日発行

LIXIL

ノンレールサッシ用 単体シャッター イタリヤ(単体枠) 取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

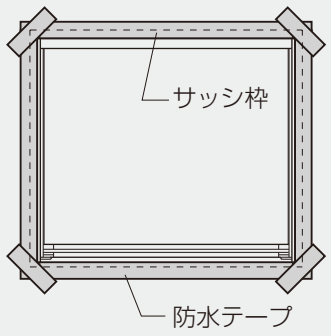
●取付け前に必ず本説明書をお読みください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

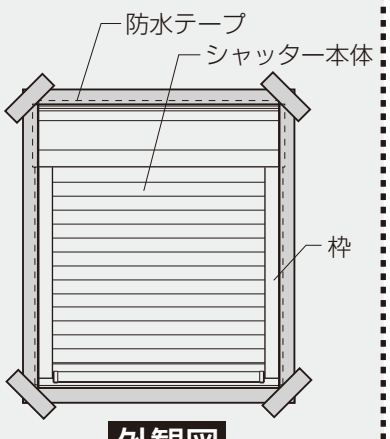
⚠注 意

●シャッター本体の脱落や変形による作動不良・漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品は木造用です。躯体が木造であることを確認し、柱などの躯体に取付けてください。
・必ず指定のねじを指定の本数使用して固定してください。
●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
・本製品を取付ける前に、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)が張ってあることを確認してください。
・本製品を取付けた後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
・部材現場付けの場合、外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさ・水切りの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
・部材現場付けの場合、外枠と天板・化粧まぐさ・水切りをねじ止めするねじは2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
・部材現場付けの場合、天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまい、漏水するおそれがあります。
・背板の取付け時は、背板の四周(天板・外枠・化粧まぐさ)およびコーナー部に防水テープを張って、さらに圧着してください。
・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレール、水切りの水抜き穴を埋込まないでください。

〔防水テープ張付け位置〕
〈サッシ枠の張付け位置〉

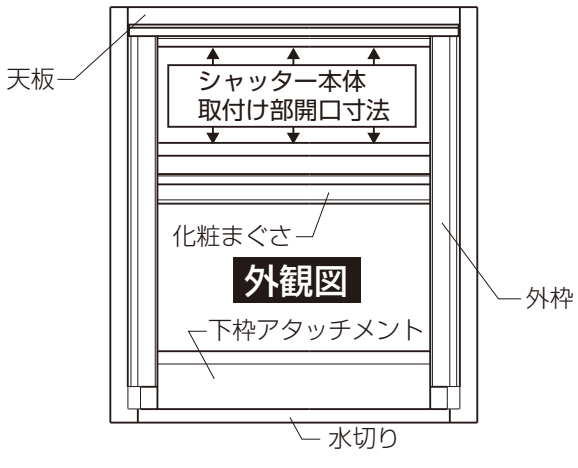


〈シャッターの張付け位置〉



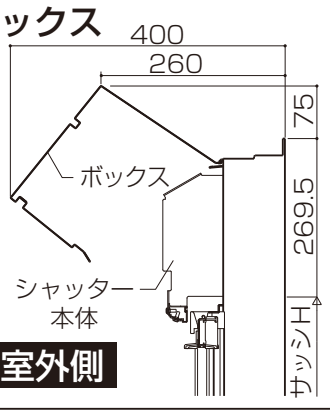
■取付け上のお願い

●サッシ枠の水平・垂直およびねじれ、たおれ、ゆがみがないことを確認してください。
サッシの組立て・取付けは、シャッター(電動)の施工範囲には含まれません。
●天板・化粧まぐさは水平に取付け、シャッター本体取付け部の開口の寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。(下図参照)シャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などがやり直しになるおそれがあります。
●枠の水平・垂直を正確に出してください。特に下枠アタッチメント・水切りの上下のソリがないようにしてください。
シャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などがやり直しになるおそれがあります。
●下枠ブラケットは必ずサッシ下枠の下面に突付けて取付けてください。下枠アタッチメントがサッシ下枠より沈み込んでしまうおそれがあります。
●モルタル施工の際、下枠アタッチメント・ガイドレール・水切りにモルタルが付着しないよう指導してください。
●モルタルはく離剤は、アルミ表面を傷めますので使用しないよう指導してください。
●水切りが変形しないよう、躯体取付けねじは必ず固定してください。
●シャッター部分の組立て・取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。
●シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。(S型ボックスを除く)

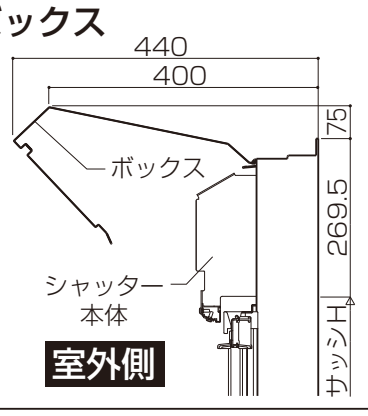


●シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースをあけてください。

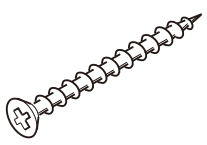
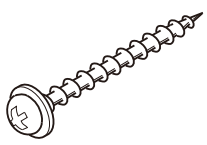
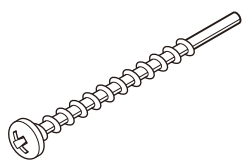
■D型ボックス

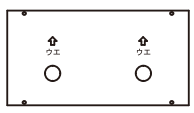
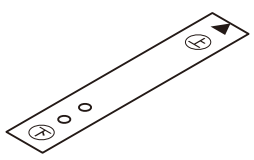
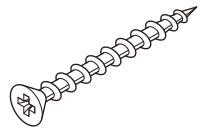


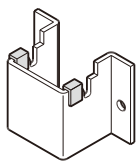
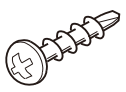
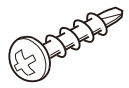
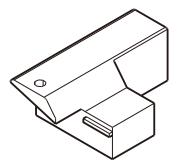
■H型ボックス



■使用部品・ねじ一覧表

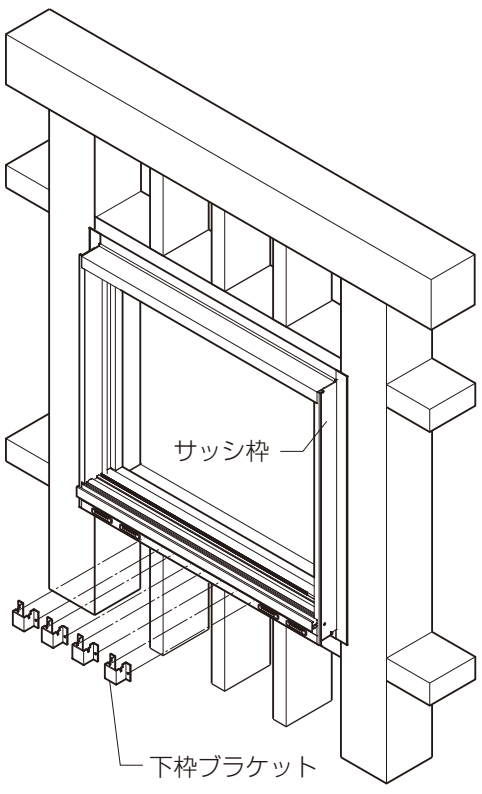
記号	㋑	㋺	㋩
名称	皿タッピンねじ φ4×35	トラスタッピンねじφ4×35 （ゴムワッシャー付き）	バインドタッピン ねじφ4×30
姿図			
使用場所	水切り・外枠・化粧まぐさ・天板	水切り	外枠
袋表示	枠取付け用		枠組立て用

記号	㋥	㋭	㋬	㋣	㋠
名称	背板	皿小ねじM4×5	防水テープ	位置決め台紙	皿タッピンねじ φ4×35
姿図					
使用場所	背板			躯体	
袋表示	同梱	背板取付け部品セット		位置決め用	

記号	㋮	㋱	㋲	㋳	㋴	㋵
名称	下枠ブラケット	バインドテクスねじ φ4×13	トラスタッピンねじ φ4×8	バインドテクスねじ φ4×13	下枠アタッチメント 端部ピース	トラス小ねじ φ4×10
姿図						
使用場所	サッシ下枠	下枠ブラケットーサッシ下枠	ガイドレールアタッチメントー外枠	下枠アタッチメントー水切り	下枠アタッチメント	下枠アタッチメント端部ピース ー下枠アタッチメント
袋表示	下枠ブラケットセット		ガイドレールアタッチメント取付け用	下枠アタッチメント取付け用	下枠アタッチメント端部ピースセット	

■取付け順序

■下枠ブラケットの取付け

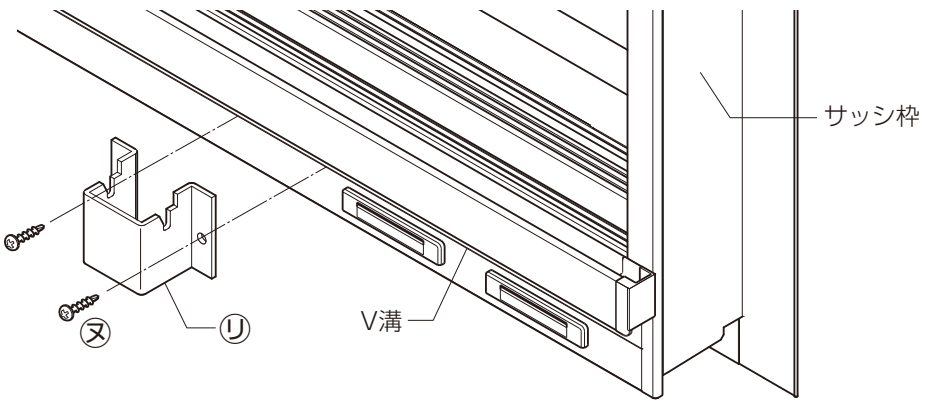


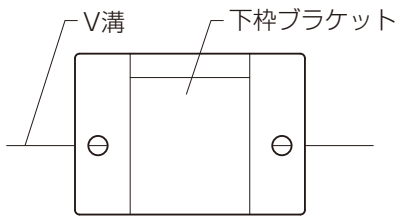
■取付け詳細

■下枠ブラケットの取付け

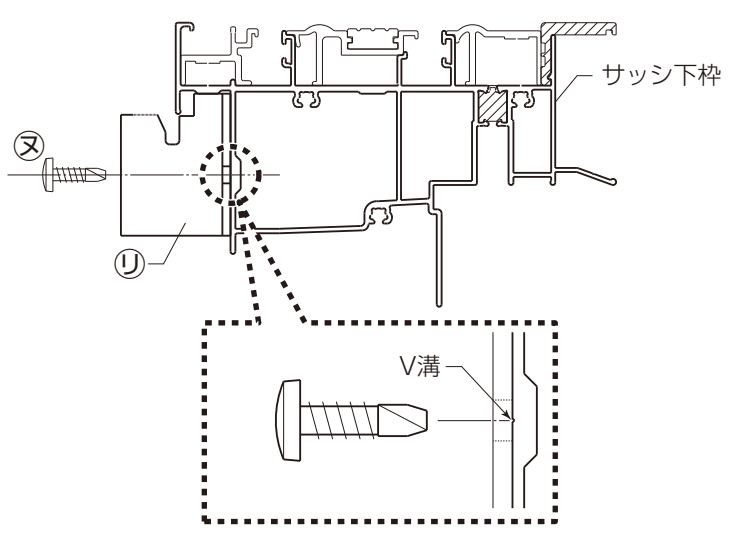
●㋮下枠ブラケットをサッシ下枠の下面に突付けてサッシ下枠（V溝）に㋱バインドテクスねじで固定します。

※下枠ブラケットは必ずサッシ下枠に突付けて、取付け穴からV溝がのぞいている状態でねじ止めしてください。下枠アタッチメントが沈み込む原因になります。





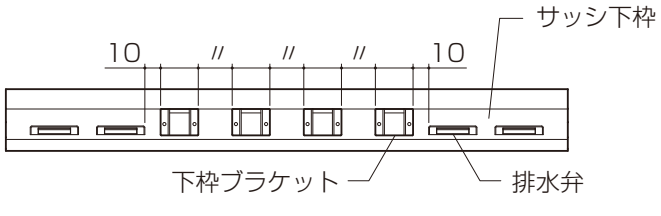
※サッシ下枠に突付けたときに、V溝が取付け穴のほぼ中心にきていることを確認してください。



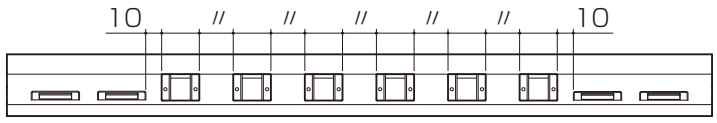
【下枠ブラケット取付け位置】

※両端の下枠ブラケットを排水弁の端部より10mmの位置に取付け、中間はほぼ等間隔になるよう取付けます。

●4個の場合

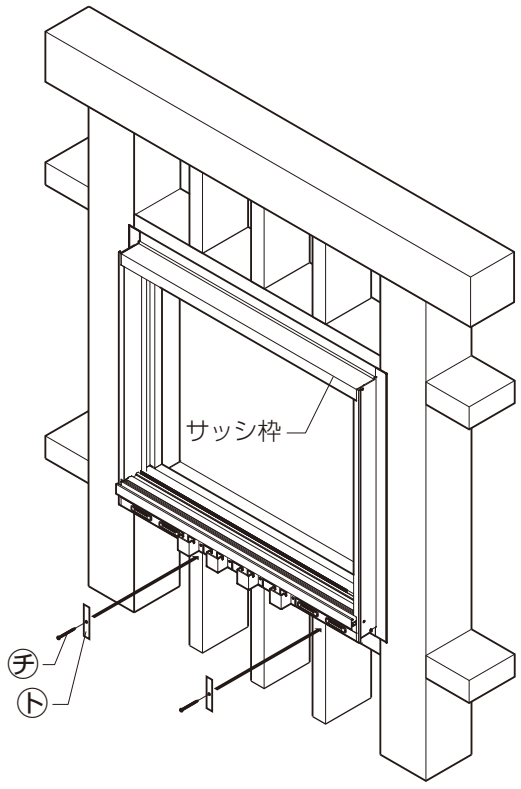


●6個の場合

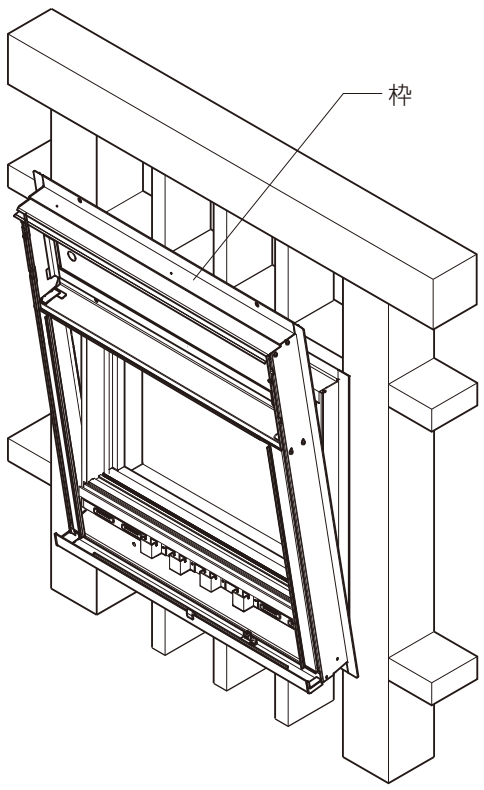


■取付け順序(四方先組みの場合)

1位置決め



2枠の仮止め

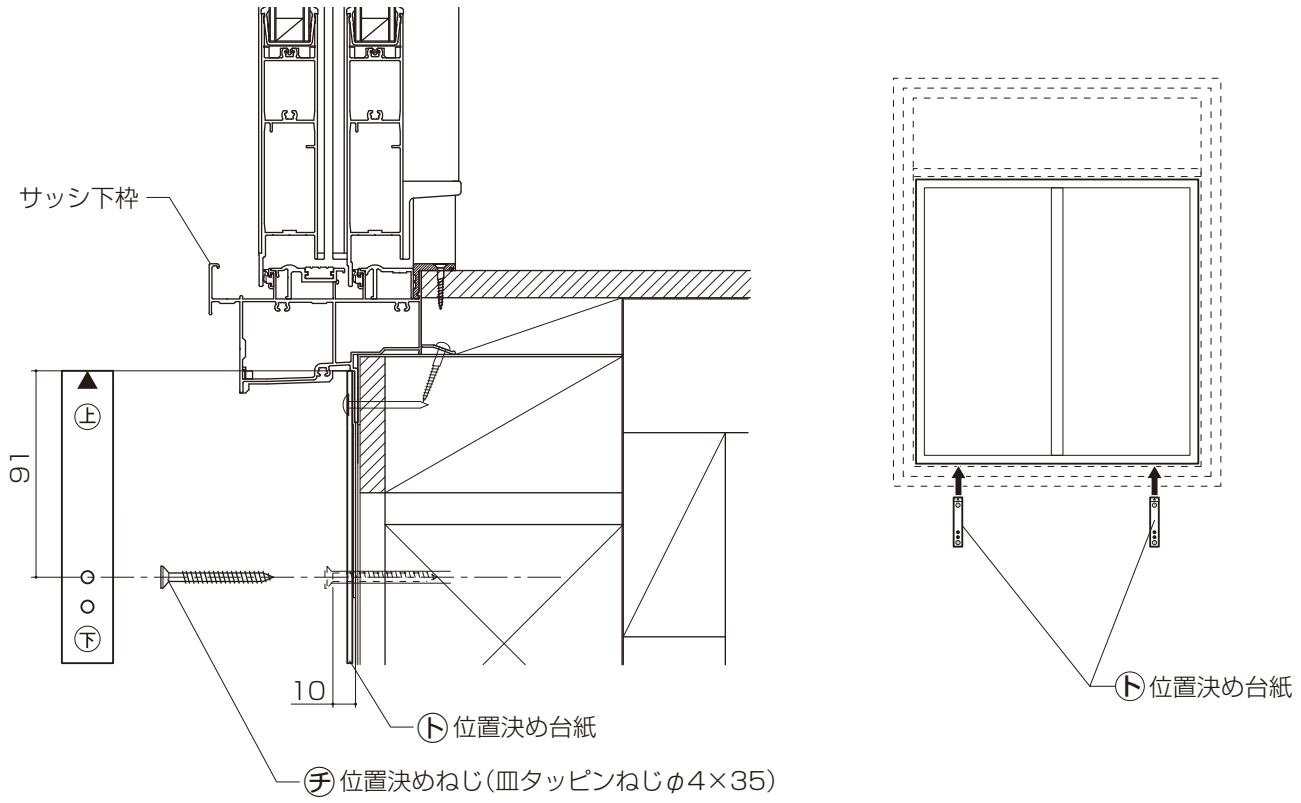


■取付け詳細(四方先組みの場合)

※入隅の場合は四方先組みして取付けを行ってください。

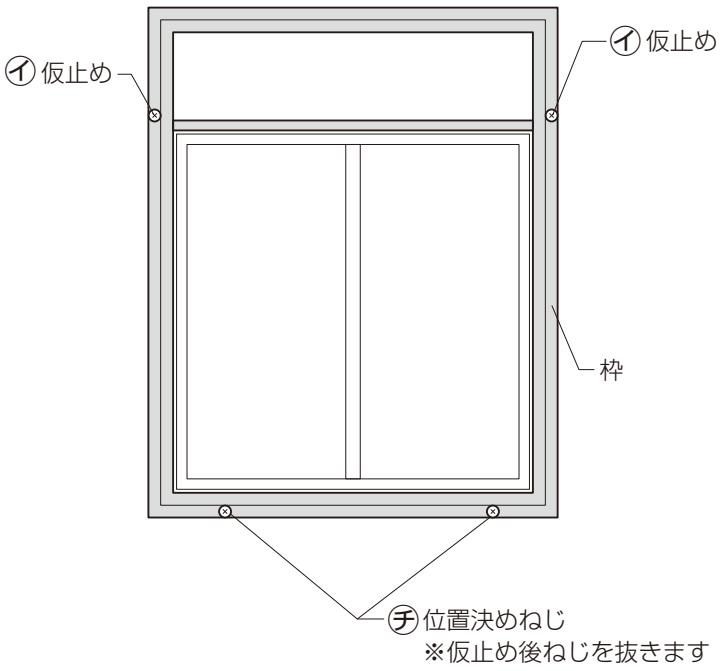
1位置決め

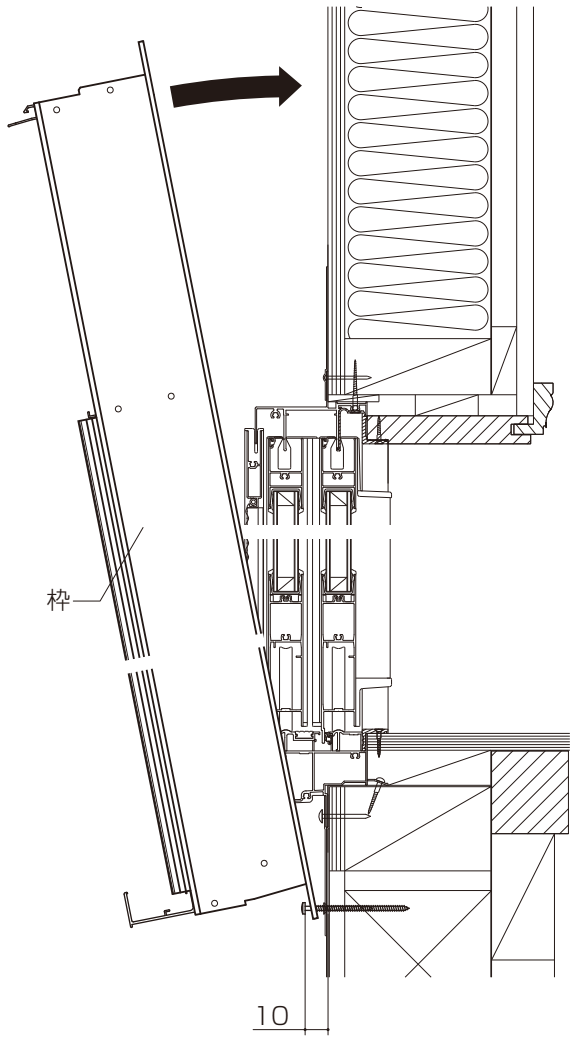
①サッシの下枠の下端に㋟位置決め台紙の上部を合わせて、台紙の直付用の穴の位置に下穴をけがきます。(左右2カ所)
※下穴は必ず、胴縁がある位置にしてください。
②けがきに合わせて、㋒位置決めねじ(皿タッピンねじ)を首下10mm残してねじを締めます。



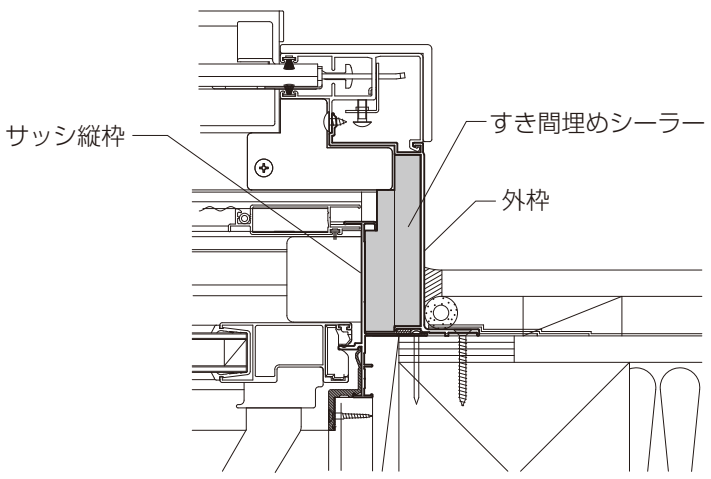
2枠の仮止め

①枠の水切りフィンを㋒位置決めねじにのせ、枠を躯体に起こします。
②天板、まぐさの水平を水準器で確認し、左右の出寸法を均等になるようにします。
③外枠の垂直を水準器で確認して一番上の穴(左右)の位置に㋑皿タッピンねじで仮止めします。
④㋒位置決めねじ(皿タッピンねじ)を抜きます。

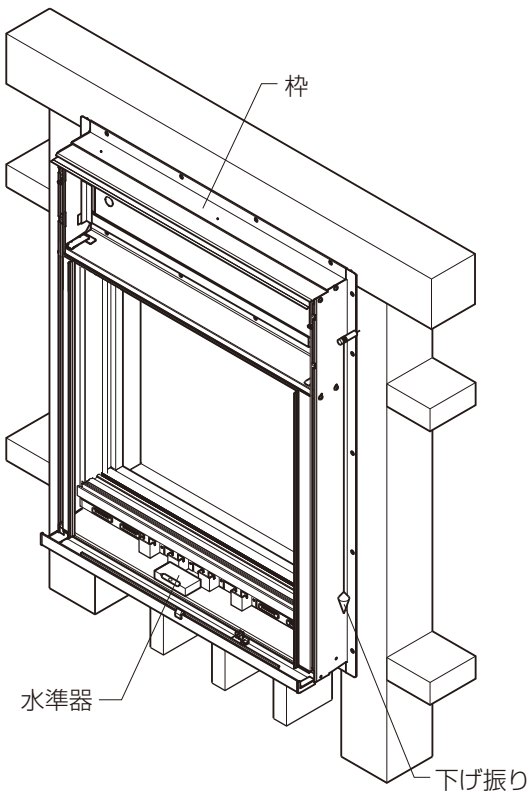




※外枠下部のすき間埋めシーラーのめくれ・よじれがなく、サッシ縦枠との間にすき間がないことを確認してください。

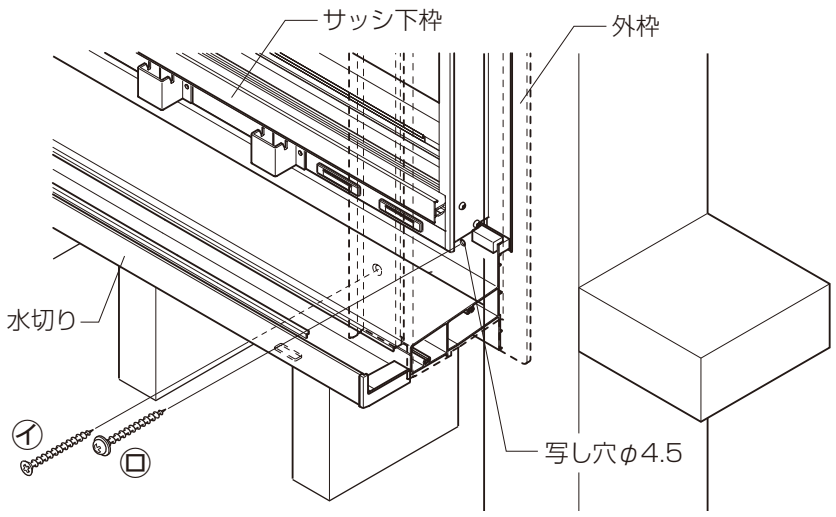


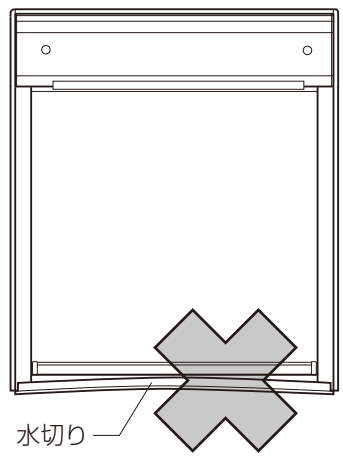
3枠の固定



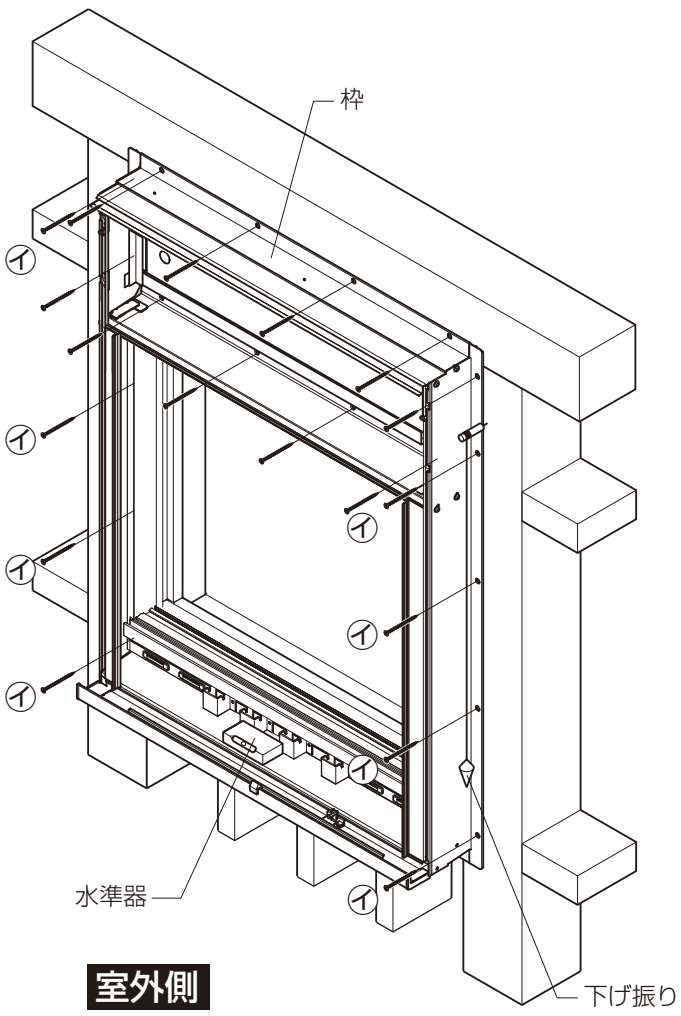
3枠の固定

①水切り上部のフィンにあいている釘穴の位置にドリルでφ4.5の写し穴をあけ、㊁トラスタッピンねじ（カラー／ゴムワッシャー付き）で固定します。
②水切り下部のフィンにあいている躯体取付け穴に合わせて、㋑皿タッピンねじ（シルバー）で固定します。
※水切り固定の際は水準器などで水平を確認し、上下にソリがある場合は、かい物などで調整してください。
シャッター作動不良の原因になります。

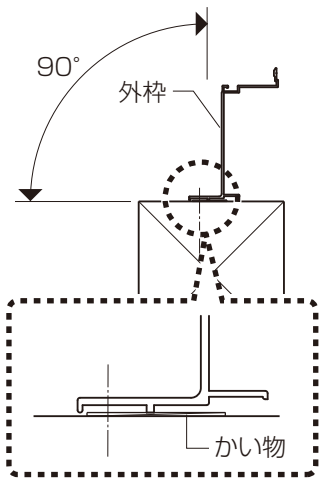




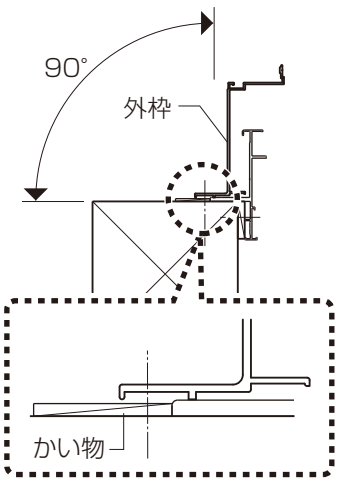
③固定していない外枠、化粧まぐさ、天板、シャッター吊束（連窓のみ）を㋑皿タッピンねじで固定します。
④外枠、化粧まぐさ、天板の垂直をだし、躯体と直角になるように㋑皿タッピンねじで固定します。

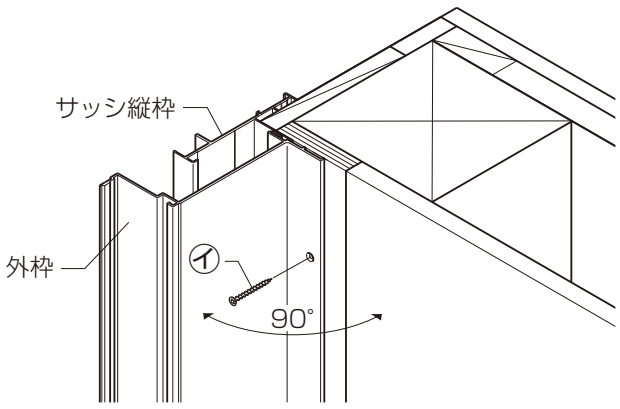


〈直付けの場合〉

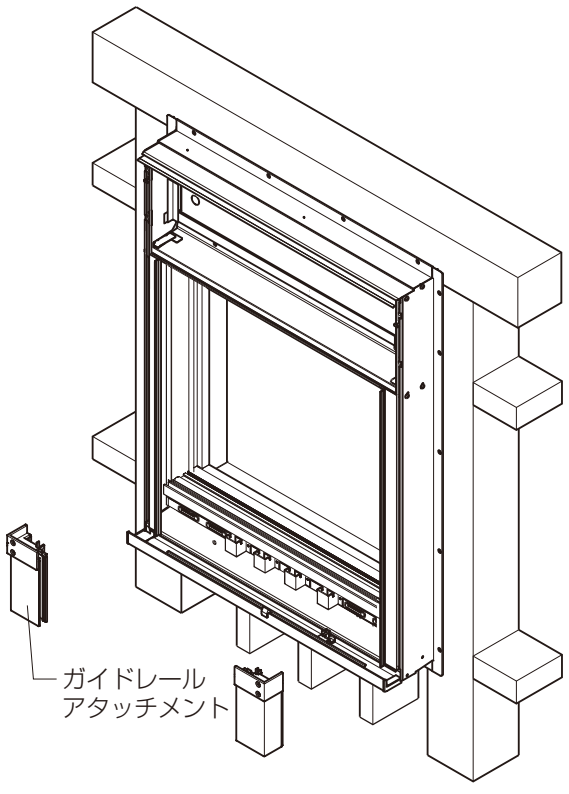


〈サッシのフィンが厚い場合〉



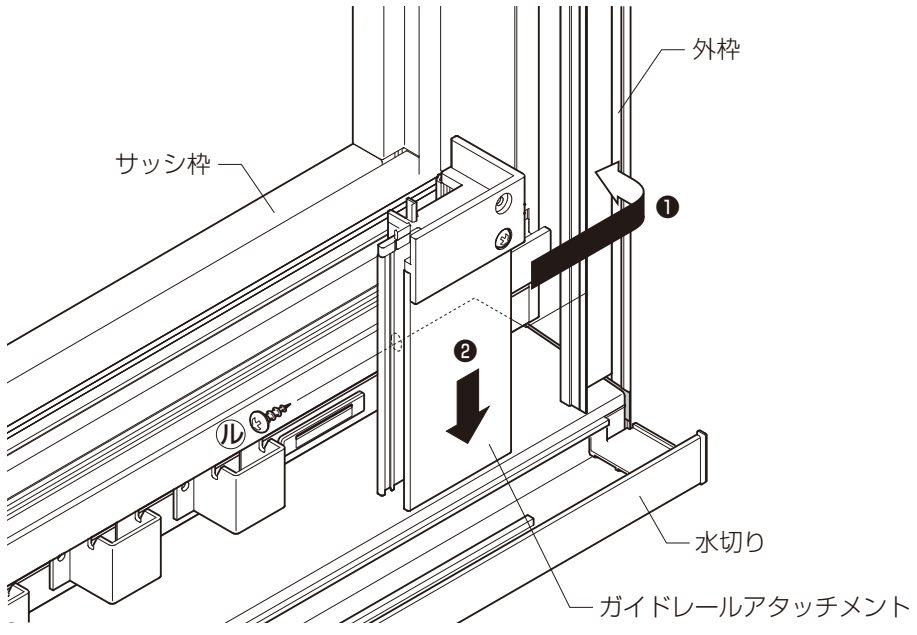


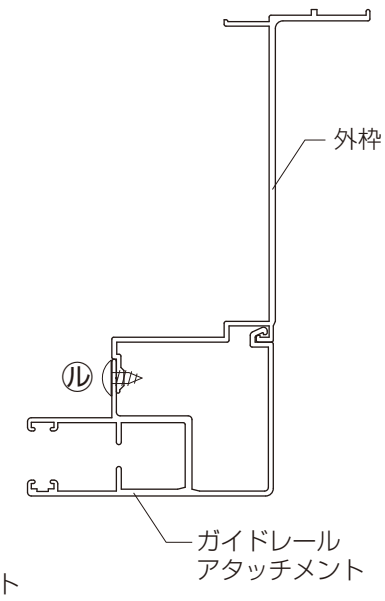
4ガイドレールアタッチメントの取付け



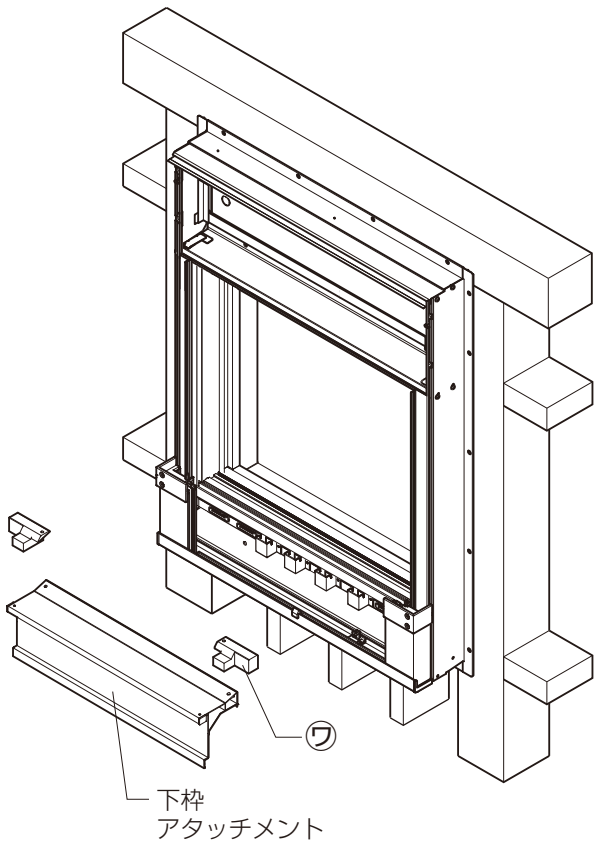
4ガイドレールアタッチメントの取付け

●ガイドレールアタッチメントを左右の外枠にはめ込み、㋭トラスタッピンねじで固定します。
※ガイドレールアタッチメントは水切り上に置いた状態でねじ止めしてください。



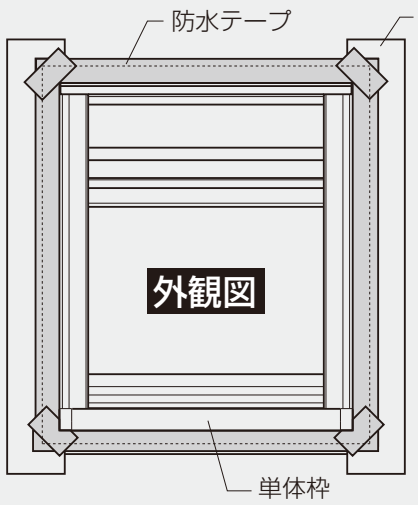


5下枠アタッチメント・下枠アタッチメント端部ピースの取付け



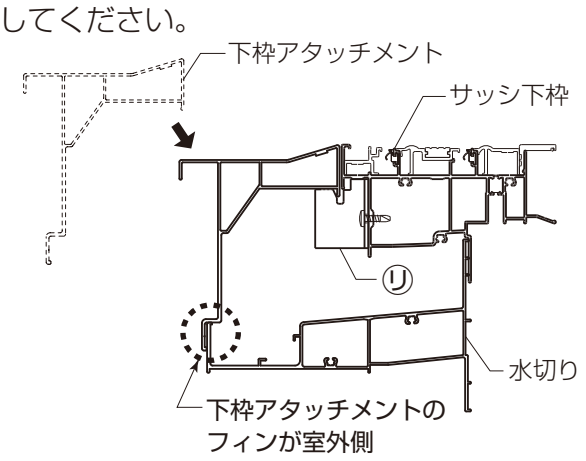
⚠注　意

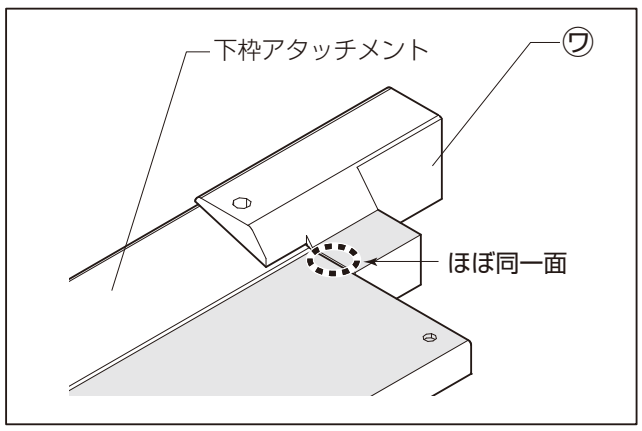
●本製品取付け後、単体枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部および単体枠の角部が完全にかくれるように防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

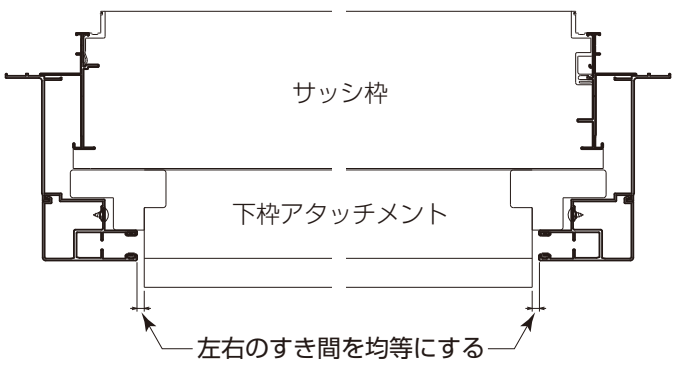


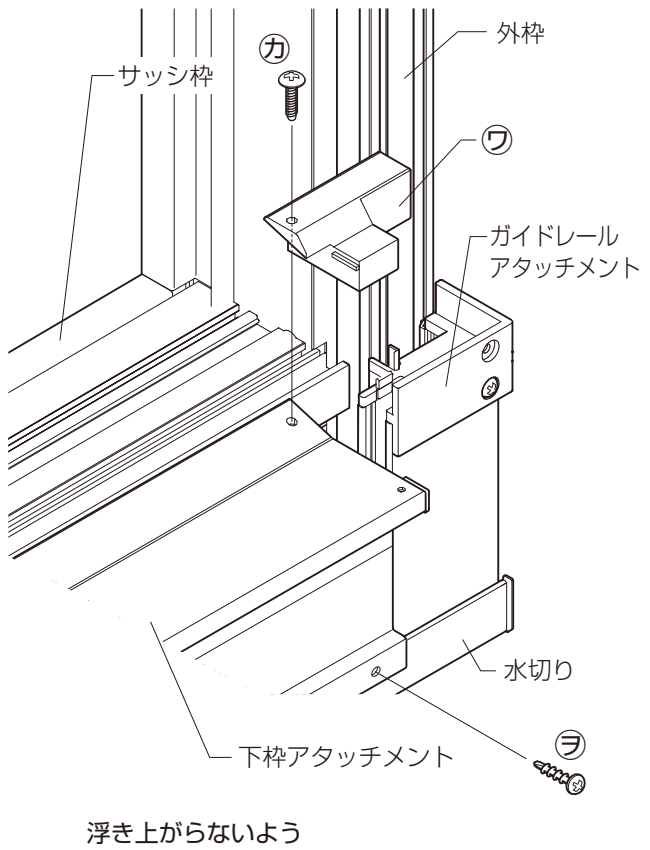
5下枠アタッチメント・下枠アタッチメント端部ピースの取付け

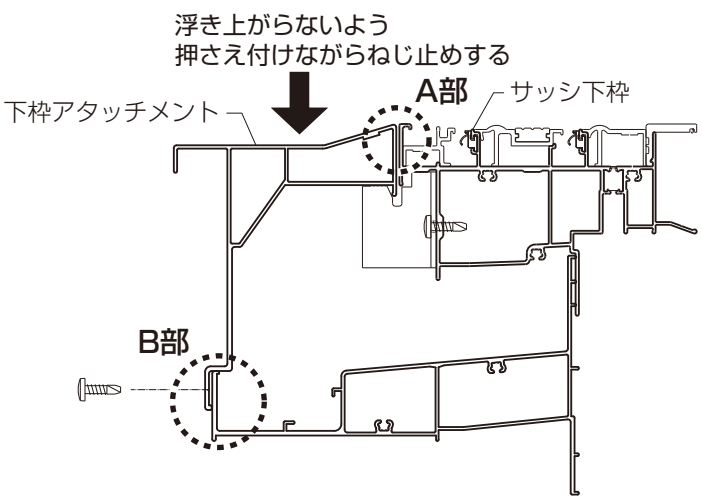
①下枠アタッチメントを㋥下枠ブラケットの溝に上から落し込みます。
※このとき、下枠アタッチメントの下部のフィンが水切りより室外側にあることを確認してください。
②下枠アタッチメントの両端を外枠とのすき間に、㋬下枠アタッチメント端部ピースを落し込んで、㋕トラス小ねじで固定します。
※落し込みづらい場合は、下枠アタッチメントを左右にずらして調整してください。
※下枠アタッチメント端部ピースが下枠アタッチメントと同一面になっていることを確認してねじ止めしてください。
③下枠アタッチメントと左右のガイドレールアタッチメントが均等になるようにして、水切りに㋭バインドテクスねじで固定します。
※このとき、下枠アタッチメントがサッシ下枠より浮き上がっている場合は、上から押さえつけながらねじ止めしてください。





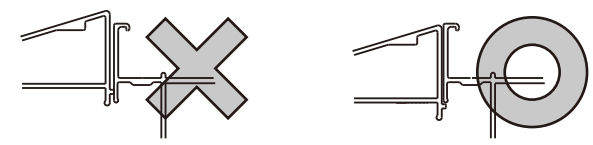






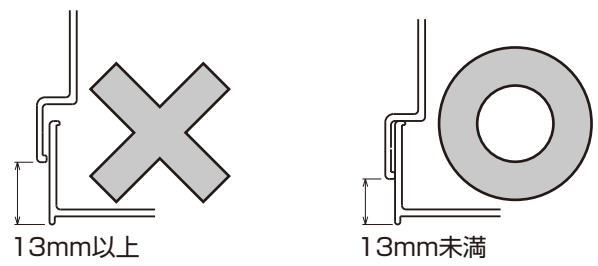
■A部詳細図

【浮き上がっている状態】　【正しく納まっている状態】



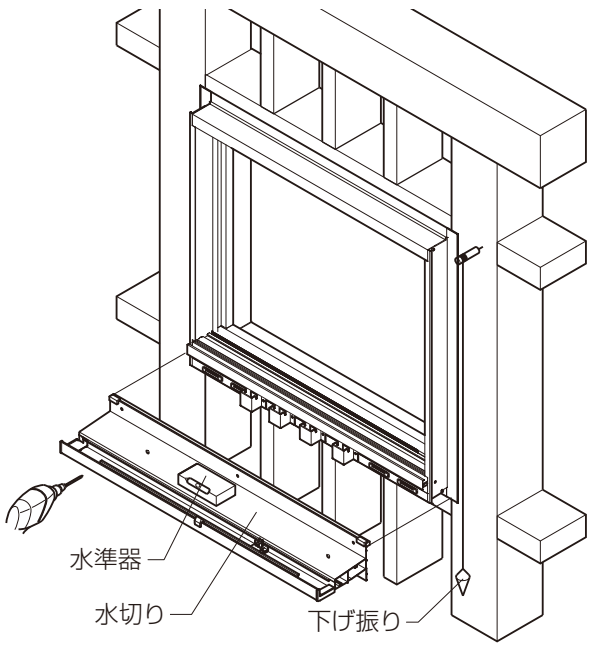
■B部詳細図

【浮き上がっている状態】　【正しく納まっている状態】



■取付け順序(部材現場付けの場合)

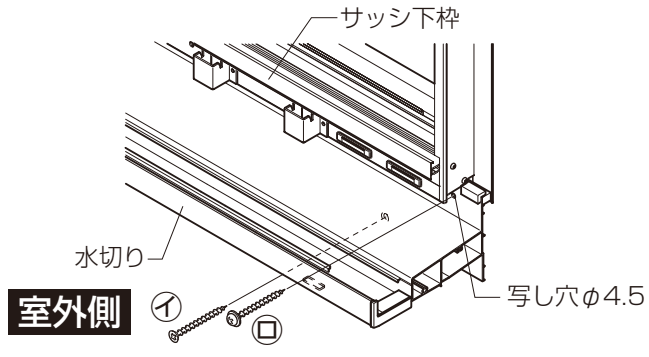
1水切りの取付け

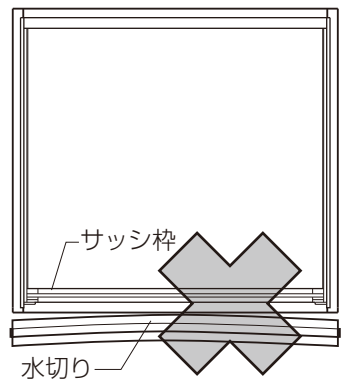


■取付け詳細(部材現場付けの場合)

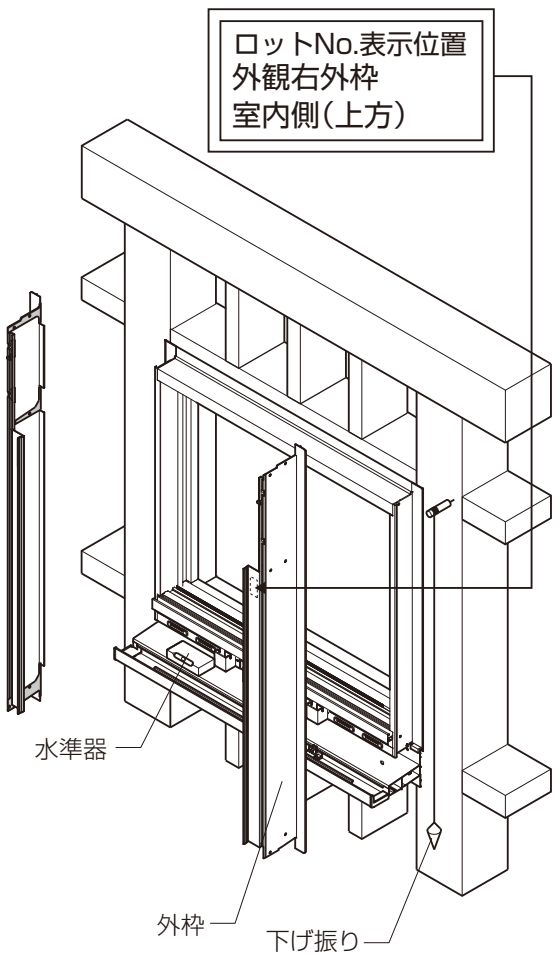
1水切りの取付け

①サッシ下枠フィンの外側から水切りをかぶせ、サッシ枠からの左右の出寸法を均等にします。
②水切りをサッシ枠に当たるまで上げ、水平にします。
③水切り上部のフィンにあいている釘穴の位置にドリルでφ4.5の写し穴をあけ、㋣トラスタッピンねじ(カラー／ゴムワッシャー付き)で固定します。
④水切り下部のフィンにあいている躯体取付け穴に合わせて、㋑皿タッピンねじで固定します。
※水切り固定の際は水準器などで水平を確認し、上下にソリのある場合は、かい物などで調整してください。シャッター作動不良の原因になります。



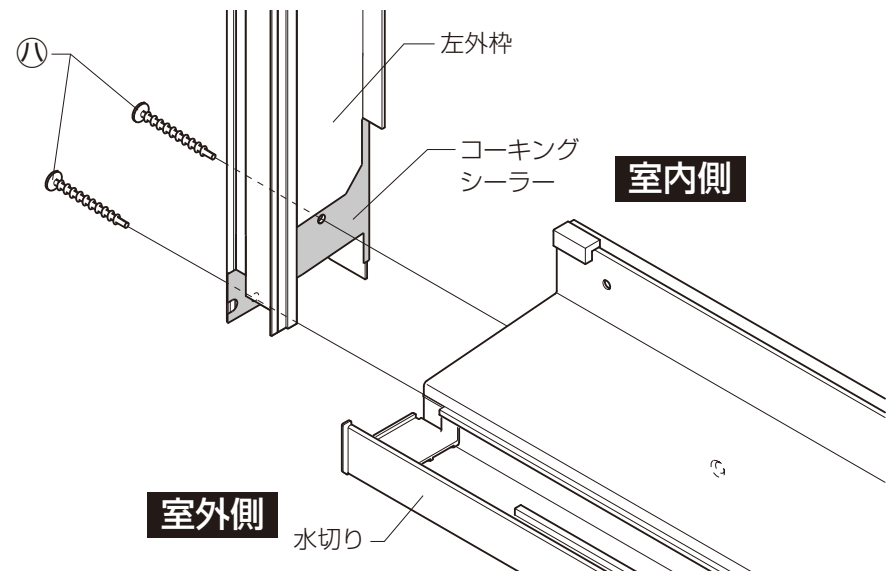


2外枠の取付け



2外枠の取付け

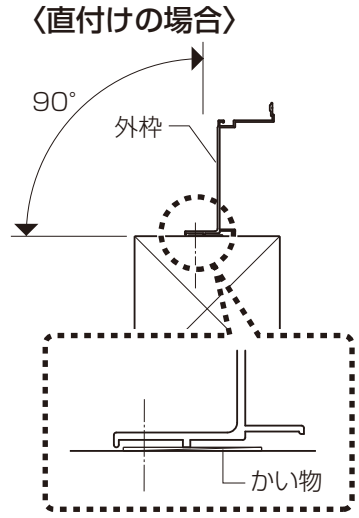
①左右の外枠を水切りに㋑バインドタッピンねじで固定します。



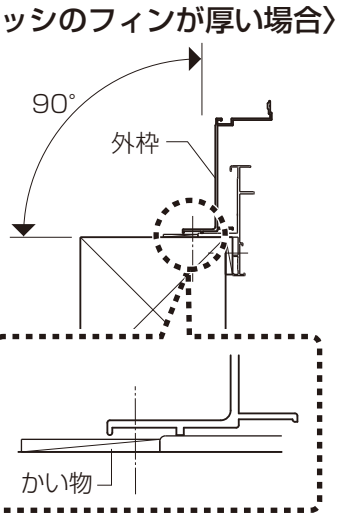
②枠の垂直を出し、躯体と直角になるようにどちらか一方の枠を㋐皿タッピンねじで固定します。もう一方は仮止めしておきます。

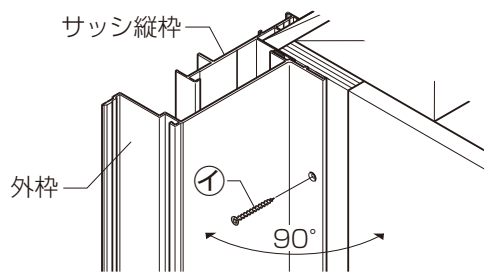
※枠の固定は下げ振りなどで垂直を確認し、躯体と直角になるようかい物などで調整してください。シャッター作動不良の原因になります。

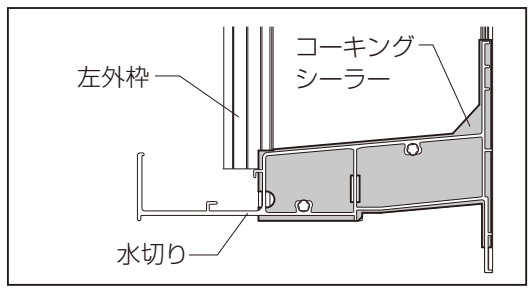
〈直付けの場合〉



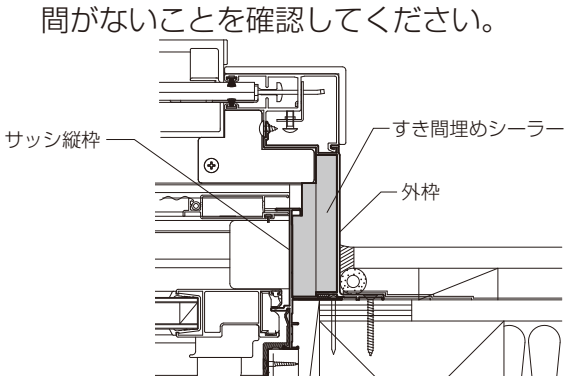
〈サッシのフィンが厚い場合〉







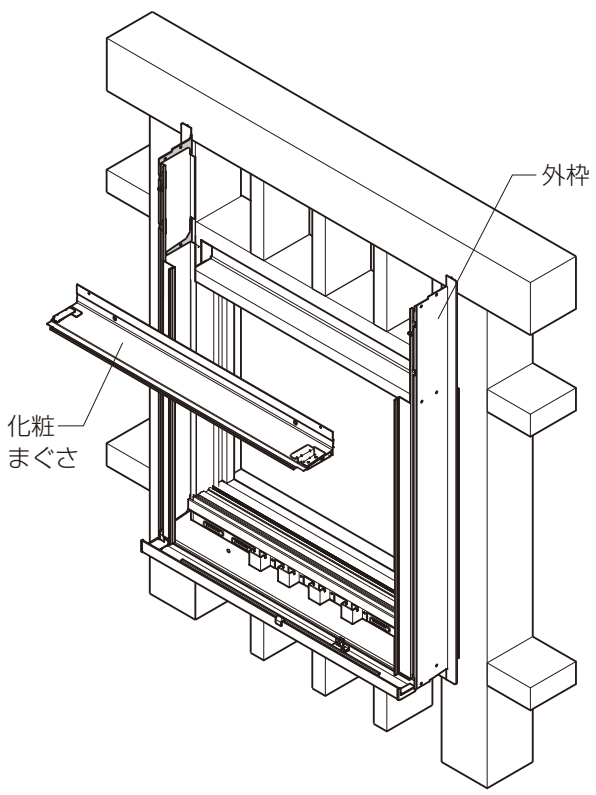
※外枠下部のすき間埋めシーラーのめくれ・よじれがなく、サッシ縦枠との間にすき間がないことを確認してください。



⚠注　意

- ●外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板・化粧まぐさ・水切りの周りにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。
- ●ねじは、2.5±0.5N・m{25±5kgf・cm}のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

3化粧まぐさの取付け

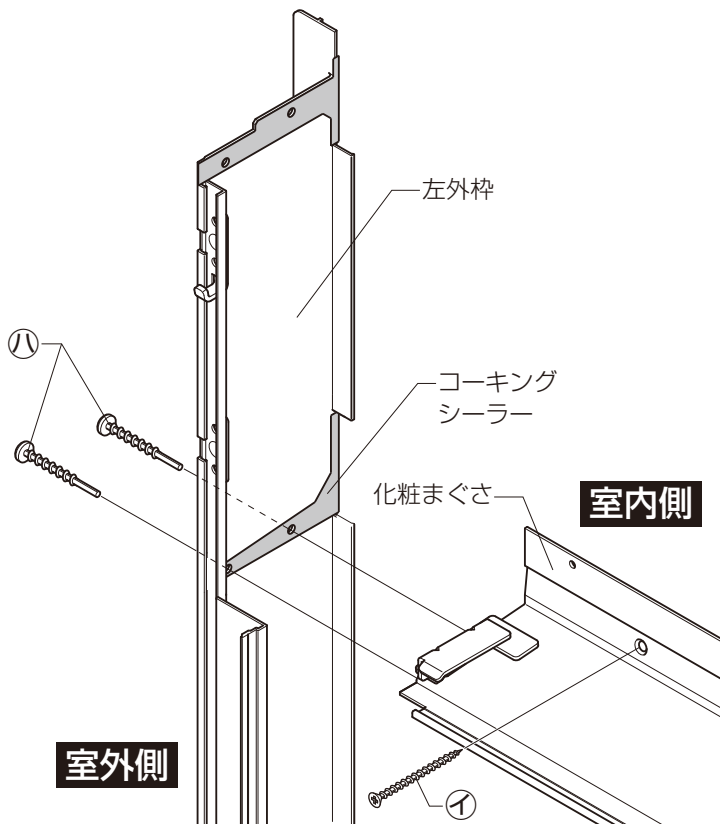


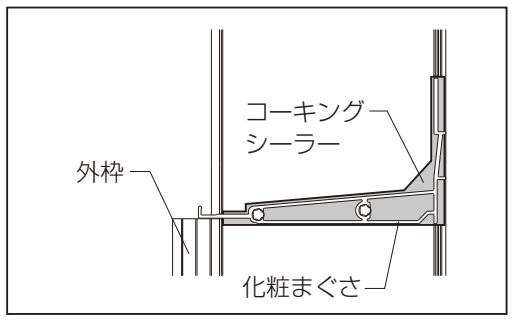
3化粧まぐさの取付け

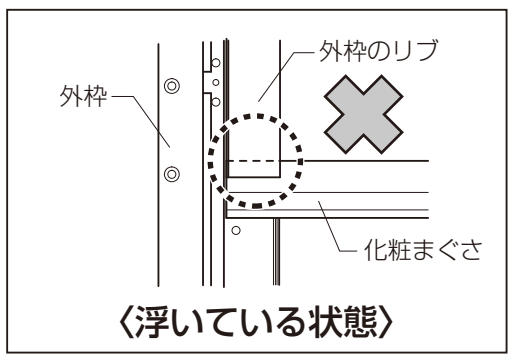
①左右の外枠と化粧まぐさを㋑バインドタッピンねじで固定します。

※躯体側が浮かないよう、外枠のリブと化粧まぐさをかみ合わせてください。

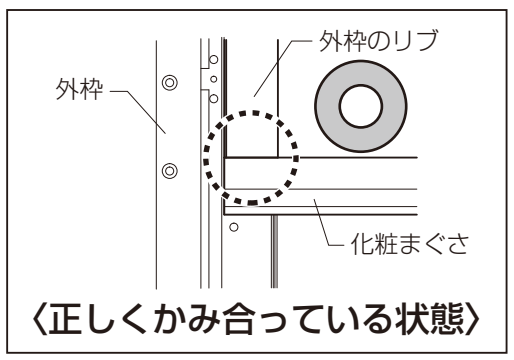
②化粧まぐさを㋐皿タッピンねじで躯体に固定します。





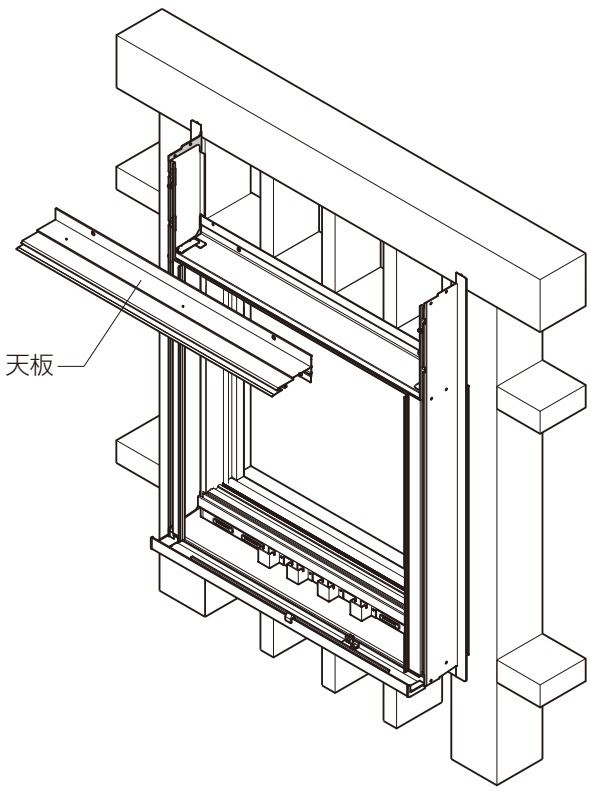


〈浮いている状態〉



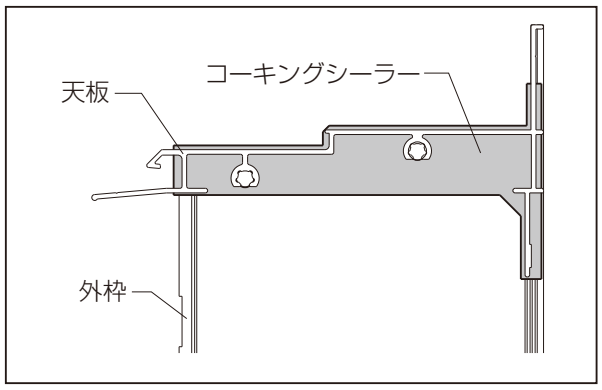
〈正しくかみ合っている状態〉

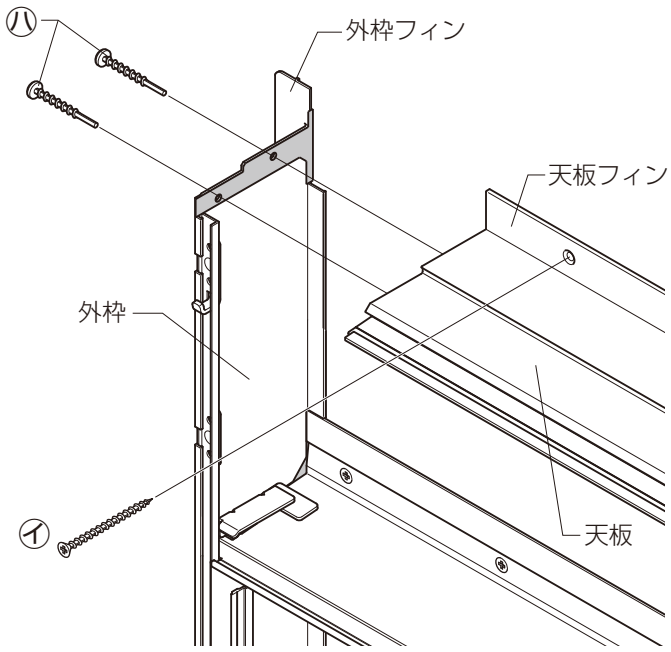
4天板の取付け



4天板の取付け

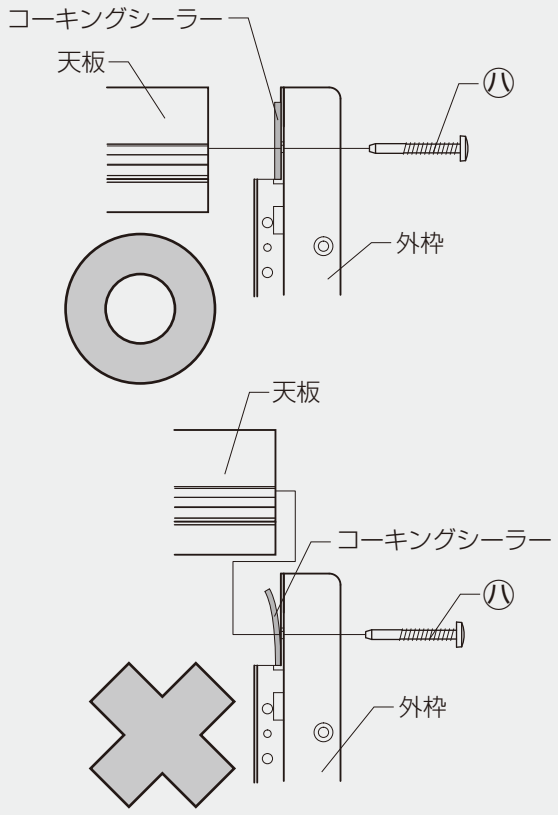
①左右の外枠と天板を㋑バインドタッピンねじで固定します。
※躯体側が浮かないよう、外枠と天板のフィンの高さを合わせてください。
②天板を㋐皿タッピンねじで躯体に固定します。

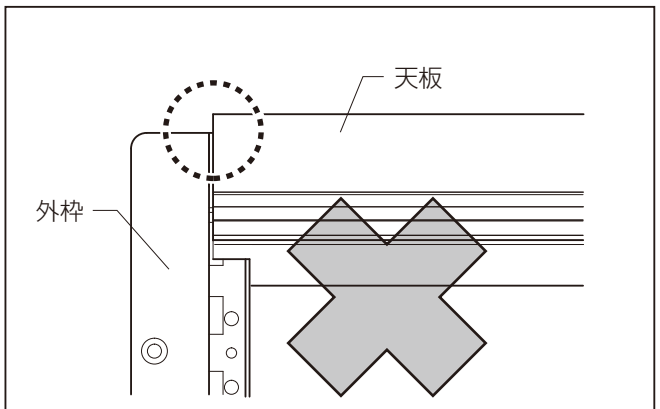




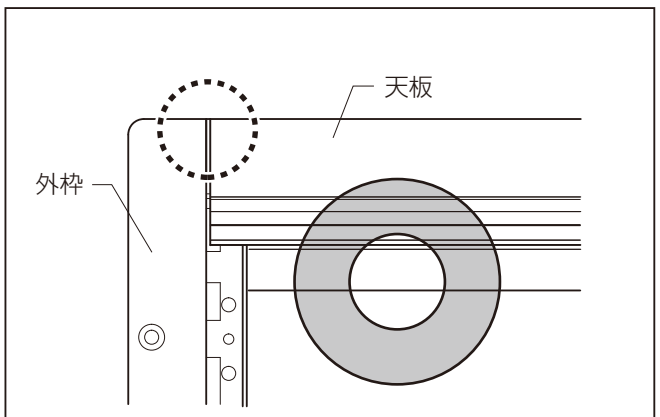
⚠注　意

●天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまい漏水の原因になるおそれがあります。



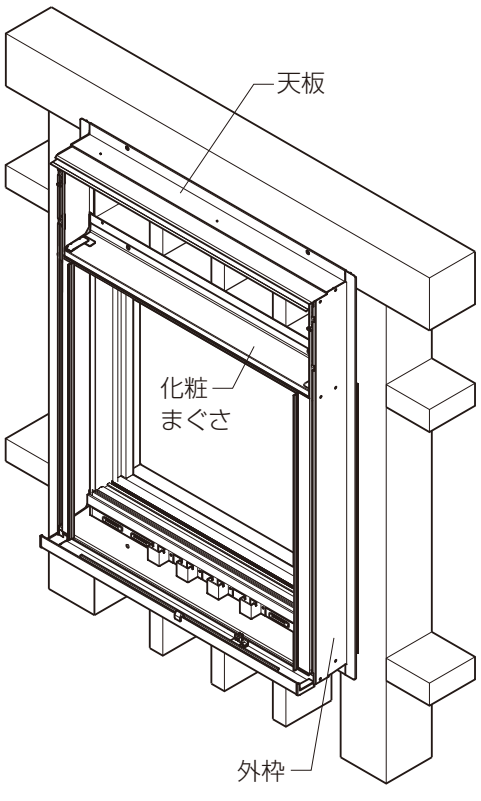


〈浮いている状態〉



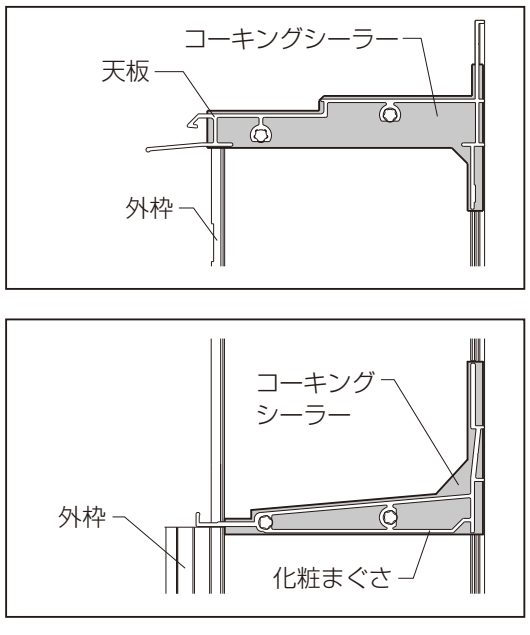
〈正しく押込んだ状態〉

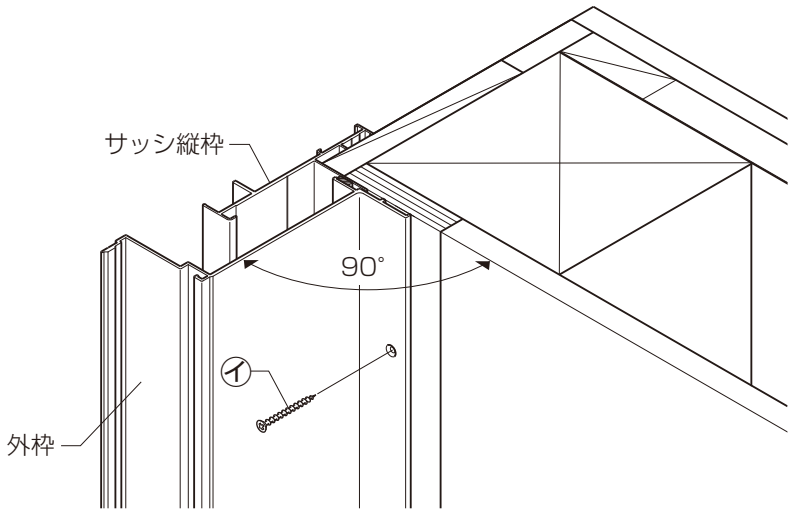
5外枠・化粧まぐさ・天板の固定



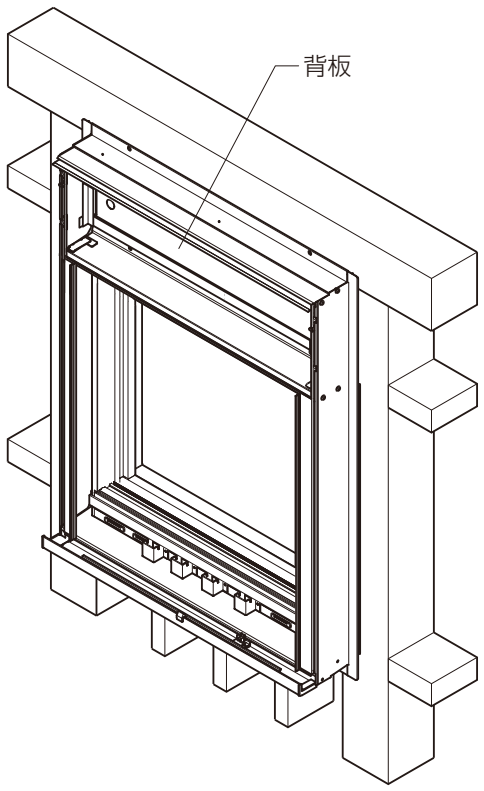
5外枠・化粧まぐさ・天板の固定

①固定していない外枠・化粧まぐさ・天板をねじで固定します。
②外枠・化粧まぐさの垂直を出し、躯体と直角になるようにねじで固定します。
※上・中・下部の開口寸法の誤差が±5mmであることを確認して調整してください。シャッター作動不良の原因になります。
※外枠と化粧まぐさはすき間なく固定してください。シャッター本体が取付けられなくなります。



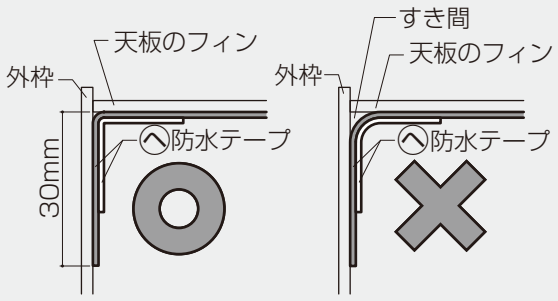


6背板の取付け

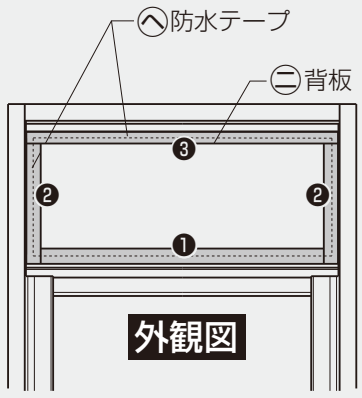


⚠注　意

●防水テープは、下記順序で背板の四周およびコーナー部に必ず圧着してください。
❶化粧まぐさ→❷外枠に折曲げて→❸天板
漏水の原因になるおそれがあります。



※コーナー部を圧着してください。

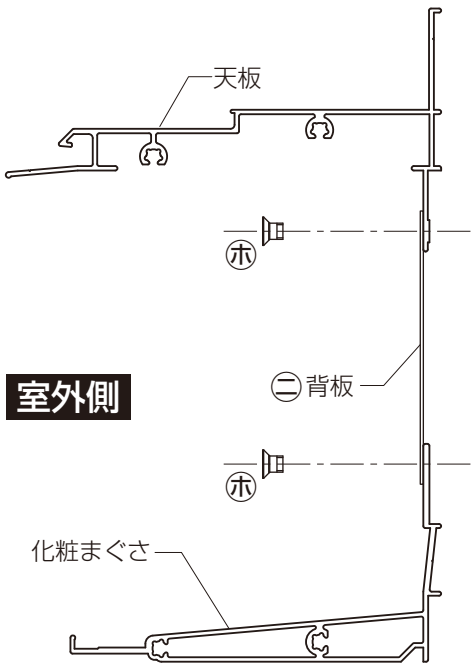


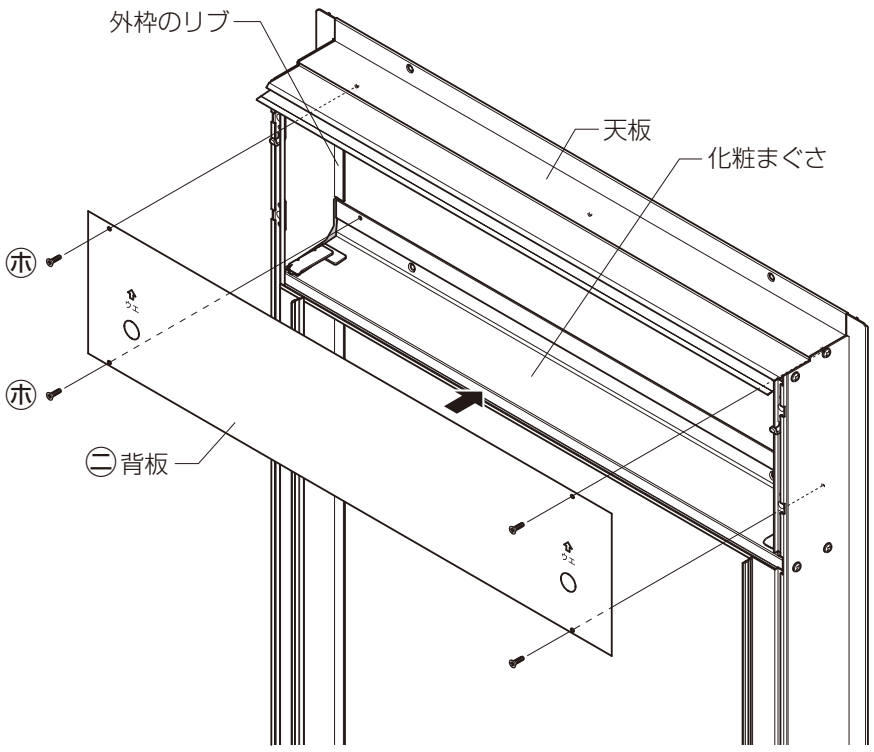
7ガイドレールアタッチメントの取付け

8下枠アタッチメント・下枠アタッチメント端部ピースの取付け

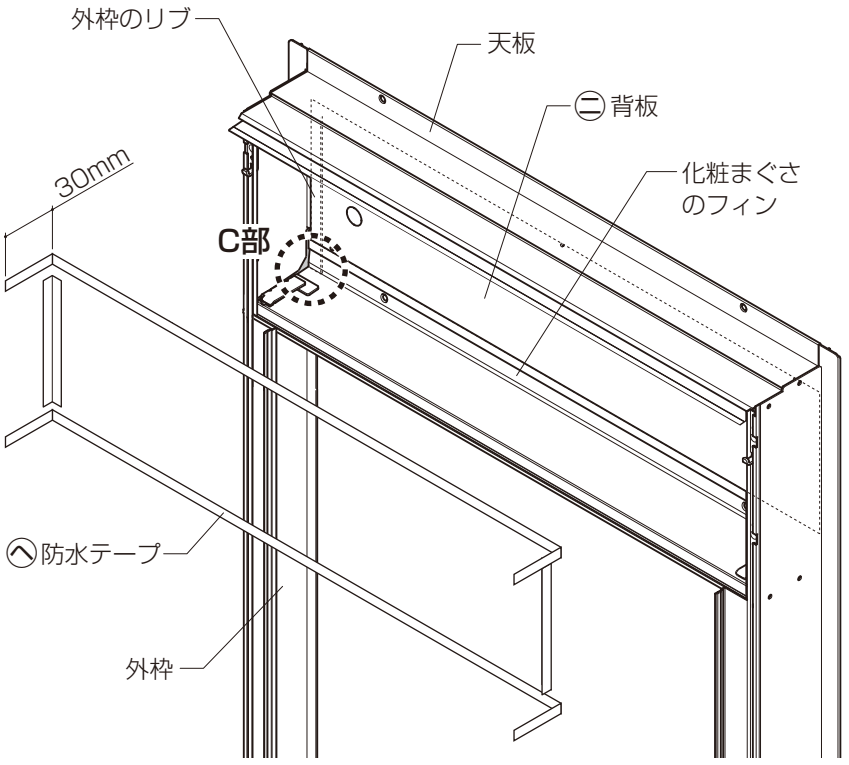
6背板の取付け

①㋩背板の「ウエ」の表示が室外側にくるように⬆の向きを上にして、天板・化粧まぐさの下穴に背板の穴を合わせて㋭皿小ねじで取付けてください。

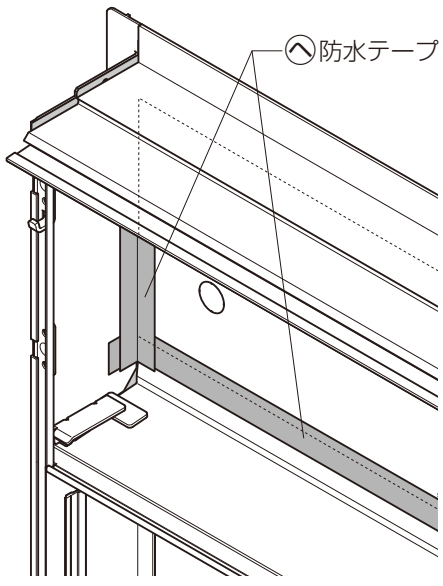




②化粧まぐさのフィン、外枠のリブ、天板のフィンに㋑防水テープを張付けてください。
※化粧まぐさ・天板に張る㋑防水テープは、両端が外枠のリブをかぶせるようにコーナー部で30mm折曲げて張付けてください。



■C部詳細図

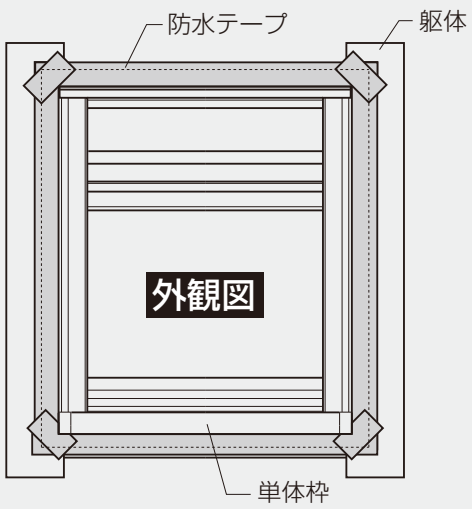


③㋑防水テープを圧着します。
④張付け後、㋩背板、㋑防水テープに浮きがないか確認してください。

7ガイドレールアタッチメントの取付け

8下枠アタッチメント・下枠アタッチメント端部ピースの取付け

●四方先組みの場合と同じ要領で行ってください。

⚠注　意

●本製品取付け後、単体枠の釘打ちフィンを完全におおい、躯体との取合わせ部および単体枠の角部が完全にかくれるように防水テープ(別売り)を張ってください。
漏水の原因になるおそれがあります。